

# 当事者主権で問いをたてる！ いつも、そして、いざというときこそ。 ——東日本大震災から3年を経て

東日本大震災、2011年3月11日。未曾有の災害のなか、庇護と管理の下に置かれたマイノリティと呼ばれる人たち——その当事者は、被災した事実をどう受けとめ、日々の暮らしを続けているのでしょうか。

地域社会からは「弱者」として位置づけられ、当事者がもっているチカラを発揮する機会はなかったのでしょうか。日ごろ、当事者として活動していた——その経験は、どのように活かされたのでしょうか。

シンポジウムでは、さまざまな問いに応えつつ……インターネットは「弱者」支援のツールになるか。WANは、日ごろの活動で何かできるか。事業体と運動体……二つの側面からその可能性をさぐります。

## 第一部／基調講演

### 「当事者として活動！ 3.11 東日本大震災—被災地での実践から」

◆ 講師：中西正司 ヒューマンケア協会代表、全国自立支援センター協議会副代表

## 第二部／事例報告

## 第三部／パネルディスカッション

### 「オンラインとオフライン—相乗効果をあげる支援とは？」

#### ◆ パネリスト：

小川晃子 岩手県立大学社会福祉学部教授

中西正司 ヒューマンケア協会代表、全国自立支援センター協議会副代表

石井布紀子 NPO法人 さくらネット代表理事

紅邑晶子 NPO法人 せんだい・みやぎNPOセンター代表理事

#### ◆ コーディネーター：

上野千鶴子 認定NPO法人 ウィメンズ アクション ネットワーク (WAN) 理事長

日時 2014年5月24日(土) 午後1時30分～4時30分(開場:午後1時)

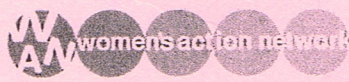
会場 アイーナ「いわて県民情報交流センター」

岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7番1号

参加費 1,000円 (WAN法人正会員 = 無料)

主催 認定NPO法人 ウィメンズ アクション ネットワーク (WAN)

<http://wan.or.jp>



女性と女性の活動をつなぐポータルサイト

(申込み・連絡先)

認定NPO法人 ウィメンズ アクション ネットワーク (WAN)

TEL. 075-708-2091 FAX. 052-203-5171

Eメール receipt-wan@wan.or.jp

●FAX、Eメールでは、住所、氏名、電話番号、年齢をご記入ください。